

平成28年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について

平成28年11月4日
小 中 学 校 課

平成28年4月19日に実施した全国学力・学習状況調査について、平成28年9月29日に文部科学省から調査結果が公表されました。

本県の調査結果概要は次のとおりです。

- 教科に関する調査結果で見られた課題は、すでに本県独自に実施した抽出の結果と同様であった。
○課題解決に向けた取組を継続していくとともに、今後は、質問紙調査を含めた多角的な分析に基づく取組を進める。

1 全体的な結果について

(1) 各教科

調査結果(平均正答率)

[単位 : %]

	国語A		国語B		算数・数学A		算数・数学B	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
小学校6年	75.2	72.9	58.0	57.8	77.0	77.6	46.8	47.2
中学校3年	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1

- 国語は、小学校・中学校ともにA問題（主として知識に関する問題）及びB問題（主として活用に関する問題）すべてにおいて全国平均を上回った。
■算数・数学は、小学校のA問題で0.6ポイント、B問題で0.4ポイント下回った。中学校では、A問題、B問題とも全国平均を上回った。

(2) 児童生徒質問紙

肯定的な回答の状況(項目数)

	全質問紙項目数	全国平均を5%以上上回る(望ましい傾向)	全国平均を5%以上下回る	肯定的な回答割合が80%を超える
小学校6年	85	10	4	41
中学校3年	85	13	3	26

- 小学校・中学校ともに、「今住んでいる地域の行事に参加する」の項目において、全国平均を5ポイント以上上回った。
■小学校においては、「学校の授業時間以外に、普段、1日あたり2時間以上勉強している」の項目が、中学校においては、「家で学校の授業の予習をする」の項目が全国平均を5ポイント以上下回った。

2 分析結果

(1) 教科の分析

- 小学校算数において、知識・技能の定着に課題が見られた。
■小学校・中学校ともに、国語において、自分の考えを書くことに課題が見られた。

【小学校】

《国語》

良好であるもの	○漢字を正しく読んだり書いたりすること ○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること
課題であるもの	●ローマ字で表記されたものを正しく読むこと ●目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書くこと

《算数》

良好であるもの	○繰り下がりのある減法の計算をすること ○示された条件を基に同じきまりが成り立つかを調べること
課題であるもの	●末尾のそろっていない小数の計算をすること ●式の中の数値の意味を解釈したり、式の意味の説明を記述したりすること

【中学校】

《国語》

良好であるもの	○文脈に即して漢字を正しく書くこと、読むこと ○文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉えること
課題であるもの	●文章の構成や表現方法について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くこと ●本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

《数学》

良好であるもの	○空間における直線と直線との位置関係を理解すること ○簡単な場合について、確率を求めること
課題であるもの	●筋道立てて考え、証明すること ●式を用いて、解決方法を数学的に説明すること

(2) 質問紙調査結果とのクロス分析

①学校の取組と平均正答率

- 自校の分析結果の活用について、学校全体で成果や課題を共有することや、保護者や地域への説明等をよく行っている学校のほうが平均正答率が高い傾向が見られた。
- 学習規律（私語をしない、話をしている人を見る、授業開始のチャイムを守る等）の維持を徹底した学校のほうが平均正答率が高い傾向が見られた。
- 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをよく行う学校や、児童生徒に家庭学習の具体的な取組について示している学校のほうが平均正答率が高い傾向が見られた。

②家庭の状況と平均正答率

- 起床・就寝時刻・朝ご飯などの基本的な生活習慣が定着している児童生徒やテレビゲーム、インターネット等の使用時間が短い児童生徒のほうが平均正答率が高い傾向が見られた。
- 家で自分で計画を立てて勉強する児童生徒や、授業の予習・復習をしている児童生徒のほうが平均正答率が高い傾向が見られた。
- 小学校においては、就学援助を受けている児童の割合が低い学校の方が平均正答率が高い傾向が見られた。一方、就学援助を受けている児童の割合が高い学校においても次の取組を行っている学校においては、平均正答率が高くなっている。
 - ・漢字・語句や計算など基礎的な事項の定着を図る授業を行っている。
 - ・児童生徒の学習習慣の定着に向けた家庭学習充実のための取組を行っている。
 - ・地域の人材や施設を積極的に活用している。

3 分析結果に基づく取組

(1) 抽出調査結果を活用した早期からの授業改善

- 抽出調査結果（4月）を活用した授業改善の取組として、以下の取組を行ってきている。
 - ・学校に対して連携した支援を行うため、市町村教育委員会の指導主事と合同で抽出結果を分析することで、本県の課題について共通理解を図った。
 - ・各学校における課題を明確にした授業改善を推進するため、抽出分析結果や授業改善例をまとめた資料を作成し、県内全小中学校に配布するとともに、全校参加の研修会においても説明を行い、周知を図った。
 - ・各学校での学力向上の取組の中核となる研究主任を対象として研修会を開催し、全国学力・学習状況調査を活用した授業改善の方策や効果的な校内授業研究会の持ち方等についての研修を行った。
 - ・市町村教育委員会とともに各学校の授業研究会や学校訪問等の機会において、抽出分析結果に基づく指導助言を行っている。
- 自校採点・分析を行い、全ての教職員で自校の課題を共有しながら早期からの授業改善に向かう取組が進んでいる。
- 課題が見られる学校については、市町村教育委員会と連携して、自校の取組の方向性について管理職や研究主任との確認や、調査結果を活用した授業づくりについて指導助言を行うなど、個別の支援を継続的にやっている。
- 特に、算数・数学に課題が見られたことから、県事業（「教科でつながる小中連携授業力向上支援事業」）を活用している15中学校区中12中学校区において、「算数・数学」を重点教科とした取組を進めている。
 - 事業実施中学校区においては、全国学力・学習状況調査結果に基づく学力向上プランを作成し、外部講師を活用した教員の授業力向上に向けた取組を行っている。

(2) 今後の取組

①学校における授業改善の推進と基礎基本の確実な定着

- 課題を明確にした、学校全体の取組による授業改善を進めるために、引き続き市町村教育委員会と連携して継続的に学校に関わる。
- 教員の指導力向上のために、各種県事業（「教科でつながる小中連携授業力向上支援事業」「小学校理科教育パワーアップ事業」「全国学力・学習状況調査を活用した学力向上」等）を通して授業改善を進める。
- 基礎的・基本的内容の定着を図るために、全小中学校に配布した「とりっこドリル」や、全校が実施している既存のテストについて、より効果的に活用した取組を推進する。
 - ・家庭学習として取り組むための活用
 - ・つまづきの見られた児童生徒への支援のための活用
 - ・教員自身が自らの指導を振り返り学習指導を改善するための活用
- よりよい学級づくりを進めていくため、平成27年度作成の「学級づくり・人間関係づくりハンドブック」の活用を推進する。

②学校と家庭が連携を図った望ましい学習習慣の確立

- 家庭学習の習慣化を図るために、学校が課す家庭学習について、その内容、提示の仕方、量、評価方法等を学校全体として共通理解を図っていく取組を推進する。
- 学校と家庭の連携により児童生徒の望ましい学習習慣が確立できるよう、学校から家庭への働きかけについて、市町村教育委員会と連携を図った取組をさらに推進する。

③児童生徒の学びを支える環境の充実

- 児童生徒の学習習慣の確立や基礎的・基本的内容の確実な定着などを図るため、地域未来塾、放課後子供教室、土曜授業等の取組の充実に向け、市町村に対する支援を行う。

平成28年度全国学力・学習状況調査結果 鳥取県の概要【資料】

小 中 学 校 課

1 実施状況

※4月19日に実施した全数調査（公立学校）の結果を集計

【小学校6年生】

教科等	国語A	国語B	算数A	算数B	質問紙
人数	4,817	4,814	4,817	4,813	4,813

【中学校3年生】

教科等	国語A	国語B	数学A	数学B	質問紙
人数	4,738	4,737	4,742	4,739	4,743

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

【平均正答率】

[単位：%]

	国語A		国語B		算数A		算数B		理科		調査方法
	本県(公立)	全国(公立)									
H28	75.2	72.9	58.0	57.8	77.0	77.6	46.8	47.2			悉皆
H27	71.5	70.0	66.8	65.4	74.6	75.2	45.2	45.0	60.1	60.8	悉皆

国 語

○国語A（主として知識）…15問

◆平均正答率・・・鳥取県 75.2%，全国 72.9%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は11問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は4問

《正答率が高かった主な問題》

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む（快晴）」問題
(鳥取県 87.4%，全国 79.3%)

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く（そうだん）」問題
(鳥取県 71.6%，全国 64.2%)

《正答率が低かった主な問題》

「ローマ字で表記されたものを正しく読む（hyaku）」問題
(鳥取県 49.8%，全国 50.7%)

○国語B（主として活用）…10問

◆平均正答率・・・鳥取県 58.0%，全国 57.8%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は4問

《正答率が高かった主な問題》

「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」問題
(鳥取県 52.4%，全国 50.4%)

「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する」問題
(鳥取県 79.2%，全国 77.9%)

《正答率が低かった主な問題》

「目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く」問題

(鳥取県 62.3%，全国 64.2%)

〔国語関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」
(鳥取県 66.9%，全国 62.3%)
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」
(鳥取県 71.4%，全国 67.0%)
- ・「国語の勉強は好き」
(鳥取県 62.5%，全国 58.3%)
- ・「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」
(鳥取県 78.8%，全国 75.1%)

算 数

○算数 A (主として知識) … 16 問

◆平均正答率・・・鳥取県 77.0%，全国 77.6%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 9 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 7 問

《正答率が高かった主な問題》

「示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表す」問題

(鳥取県 82.3%，全国 80.2%)

「除数が 1 より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解する」問題

(鳥取県 69.2%，全国 64.8%)

《正答率が低かった主な問題》

「1 を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解する」問題
(鳥取県 44.3%，全国 50.9%)

○算数 B (主として活用) … 13 問

◆平均正答率・・・鳥取県 46.8%，全国 47.2%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 5 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 8 問

《正答率が高かった主な問題》

「ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4 台目のハードルの位置を求める」問題
(鳥取県 58.1%，全国 56.2%)

「単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定する」問題
(鳥取県 50.8%，全国 48.3%)

《正答率が低かった主な問題》

「縦にかくことができる正方形の数を求め、24 個の正方形をかくことができる理由を記述する」問題
(鳥取県 33.8%，全国 38.4%)

〔算数関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」
(鳥取県 88.6%，全国 84.8%)
- ・「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」
(鳥取県 83.1%，全国 81.0%)
- ・「今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」
(鳥取県 74.9%，全国 72.0%)

■全国平均より低い主なもの

- ・「算数の勉強は好き」 (鳥取県 61.6%，全国 66.0%)
- ・「算数の授業の内容はよく分かる」 (鳥取県 77.4%，全国 80.2%)

(2) 中学校3年生

【平均正答率】

[単位：%]

	国語A		国語B		数学A		数学B		理科		調査方法
	本県(公立)	全国(公立)									
H28	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1			悉皆
H27	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6	53.0	53.0	悉皆

国語

○国語A (主として知識) … 33問

◆平均正答率・・・鳥取県 76.7%，全国 75.6%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は20問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は13問

《正答率が高かった主な問題》

「文脈に即して漢字を正しく読む(敬う)」問題

(鳥取県 88.4%，全国 82.6%)

「文脈に即して漢字を正しく書く(ケンキュウ)」問題

(鳥取県 89.1%，全国 83.5%)

《正答率が低かった主な問題》

「文章の構成や展開について自分の考えをもつ」問題

(鳥取県 65.6%，全国 67.3%)

○国語B (主として活用) … 9問

◆平均正答率・・・鳥取県 67.1%，全国 66.5%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は7問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は2問

《正答率が高かった主な問題》

「課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える」問題

(鳥取県 53.0%，全国 49.2%)

「文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える」問題

(鳥取県 77.3%，全国 76.2%)

《正答率が低かった主な問題》

「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」問題

(鳥取県 55.3%，全国 57.7%)

〔国語関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「読書は好き」 (鳥取県 75.2%，全国 69.9%)
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」 (鳥取県 65.4%，全国 62.2%)
- ・「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」 (鳥取県 59.7%，全国 56.7%)

■全国平均より低い主なもの

- ・「国語の授業の内容はよく分かる」 (鳥取県 72.2%, 全国 74.1%)
- ・「国語の勉強は好き」 (鳥取県 58.1%, 全国 59.8%)

数 学

○数学A (主として知識) … 36問

◆平均正答率・・・鳥取県 63.2%, 全国 62.2%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 24 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 12 問

《正答率が高かった主な問題》

「空間における直線と直線との位置関係 (辺と辺とがねじれの位置にあること) を理解する」問題 (鳥取県 80.7%, 全国 75.5%)

「簡単な場合について、確率を求める」問題 (鳥取県 81.5%, 全国 79.6%)

《正答率が低かった主な問題》

「「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解する」問題 (鳥取県 63.5%, 全国 66.0%)

○数学B (主として活用) … 15問

◆平均正答率・・・鳥取県 44.4%, 全国 44.1%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 11 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 4 問

《正答率が高かった主な問題》

「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理する」問題 (鳥取県 80.4%, 全国 79.3%)

「条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求める」問題 (鳥取県 61.1%, 全国 59.1%)

《正答率が低かった主な問題》

「適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する」問題 (鳥取県 50.1%, 全国 51.4%)

〔数学関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」 (鳥取県 73.7%, 全国 71.5%)
- ・「数学の勉強は大切」 (鳥取県 81.4%, 全国 80.5%)
- ・「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」 (鳥取県 42.7%, 全国 41.9%)

■全国平均より低い主なもの

- ・「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」 (鳥取県 65.7%, 全国 69.0%)
- ・「数学の授業の内容はよく分かる」 (鳥取県 66.4%, 全国 69.4%)

3 質問紙調査の概要

- ※ [] 内の数字は、質問番号
- ※ 全国平均を上回っている数値…赤字、下回っている数値…青字

○小中共通〔5〕

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 79.1 %，全国 76.1 %

中学校 鳥取県 69.5 %，全国 69.6 %

○小中共通〔9〕

「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 83.5 %，全国 85.3 %

中学校 鳥取県 70.3 %，全国 71.1 %

○小中共通〔14〕

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に「2時間以上」という回答

小学校 鳥取県 20.1 %，全国 25.5 %

中学校 鳥取県 30.0 %，全国 34.2 %

○小中共通〔15〕

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に「3時間以上」という回答

小学校 鳥取県 7.1 %，全国 11.7 %

中学校 鳥取県 17.6 %，全国 16.6 %

○小中共通〔17〕

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に「10分以上」という回答

小学校 鳥取県 64.2 %，全国 63.5 %

中学校 鳥取県 53.9 %，全国 49.7 %

○小中共通〔18〕

「本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか」に「週に1回以上」という回答

小学校 鳥取県 25.3 %，全国 16.4 %

中学校 鳥取県 15.3 %，全国 7.6 %

○小中共通〔21〕

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 65.0 %，全国 62.2 %

中学校 鳥取県 52.7 %，全国 48.4 %

○小中共通〔23〕

「家で学校の授業の予習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 43.8 %，全国 43.3 %

中学校 鳥取県 27.6 %，全国 34.2 %

○小中共通〔24〕

「家で学校の授業の復習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 61.0 %，全国 55.2 %

中学校 鳥取県 48.0 %，全国 51.0 %

○小中共通〔34〕

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 82.4 %，全国 67.9 %

中学校 鳥取県 53.5 %，全国 45.2 %

学力向上指標(鳥取県の「教育に関する大綱」状況一覧)

H23年度は調査・アンケート未実施

【学力調査の状況】

対象		H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
前年度より、最上位層の割合が全国の割合を上回る(小中)	小6	75.0%	100.0%	60.0%	100.0%	100.0%	60.0%	25.0%
	中3	75.0%	50.0%	80.0%	100.0%	50.0%	60.0%	100.0%
前年度より、最下位層の割合が全国の割合を下回る(小中)	小6	50.0%	50.0%	60.0%	100.0%	75.0%	60.0%	75.0%
	中3	100.0%	50.0%	80.0%	100.0%	75.0%	80.0%	75.0%
区分		国A	国B	算A	算B			
小6	最上位層の割合が全国の割合を上回ったもの							
小6	最下位層の割合が全国の割合を下回ったもの							
区分		国A	国B	数A	数B			
中3	最上位層の割合が全国の割合を上回ったもの							
中3	最下位層の割合が全国の割合を下回ったもの							
過去の調査と同一問題の正答率について、全国平均を上回った割合が前年度を上回る(小中)		小6			72.7%	66.7%	100.0%	100.0%
		中3			85.7%	33.3%	50.0%	50.0%
記述式問題の無解答率について全国平均以下であった割合が前年度の割合より下回る(小中)		小6			87.5%	100.0%	100.0%	100.0%
		中3			70.0%	44.4%	40.0%	30.0%
中学校3年生の各教科の最上位層の割合が、同生徒が小学校6年時の各教科の最上位層の割合を上回る(小中)		中3						25.0%
中学校3年生の各教科の最下位層の割合が、同生徒が小学校6年時の各教科の最下位層の割合を下回る(小中)		中3						100.0%
区分		国A	国B	数A	数B			
中3	最上位層の割合が小学校6年時の割合を上回ったもの							
中3	最下位層の割合が小学校6年時の割合を下回ったもの							

【学び方の質・学習状況】

主体的・協働的な学び

対象		H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
「身に付けた知識・技能や経験を、生活の中で活用できないか考える」児童生徒の増加(小中) 算数・数学	小6	61.4%	63.9%	63.8%	65.1%	64.9%	64.8%	68.4%
	中3	29.4%	31.4%	33.8%	35.9%	39.2%	40.4%	42.7%
「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加(高)	高2	実施なし	47.6%	50.2%	69.4%	69.9%	70.9%	別途
「児童生徒の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりする発問や指導をする」学校の増加(小中)、教員の増加(高)	小	94.3%	92.0%	98.1%	95.3%	95.5%	96.2%	94.6%
	中	92.3%	97.1%	92.0%	92.0%	93.7%	92.1%	93.3%
	高校教員	実施なし	77.0%	80.5%	89.6%	90.2%	89.9%	別途
「授業の中で、自分たちで課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組む」児童生徒の増加(小中)	小6	項目なし					75.7%	79.6%
	中3	項目なし					73.4%	76.3%
「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする」児童生徒の増加(小中)	小6	54.8%	58.4%	62.0%	62.2%	66.2%	66.9%	71.4%
	中3	44.1%	44.9%	54.3%	55.9%	58.8%	62.8%	65.4%
「全校一斉読書に取り組む」学校の増加(小中高)	小	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	99.3%	100.0%	別途
	中	95.4%	97.1%	100.0%	95.3%	92.0%	100.0%	別途
	高	45.8%	87.5%	87.5%	91.6%	83.3%	83.3%	別途
「読書が好きである」児童生徒の増加(小中高)	小6	74.9%	74.2%	75.1%	74.7%	75.5%	74.5%	77.1%
	中3	73.2%	73.5%	74.3%	73.0%	73.2%	72.1%	75.2%
	高2	H25年新規項目		68.2%	64.8%	66.0%	別途	

家庭における学習等の状況

「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加(小中高)	小6	55.1%	57.4%	57.2%	61.8%	65.3%	64.9%	65.0%
	中3	36.9%	41.3%	43.8%	46.2%	47.1%	50.2%	52.7%
	高2	実施なし	29.0%	36.0%	39.4%	37.9%	39.4%	別途
「児童生徒に対する国語・算数(数学)の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加(小中)	小	97.6%	92.1%	96.6%	98.5%	97.0%	94.8%	96.9%
	中	63.1%	46.1%	62.5%	62.0%	87.3%	68.2%	81.7%

【豊かに生きる共に生きる力の状況】

自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識

対象		H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の増加(小中高)	小6	73.1%	71.6%	項目なし	76.3%	78.1%	77.2%	79.1%
	中3	57.7%	60.1%	項目なし	65.9%	68.1%	69.1%	69.5%
	高2	実施なし	30.4%	40.4%	53.9%	61.4%	58.8%	別途
「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童生徒の増加(小中高)	小6	項目なし			57.1%	64.4%	64.2%	73.4%
	中3	項目なし			48.9%	54.4%	56.0%	65.2%
	高2	実施なし		47.9%	実施なし	53.8%	実施なし	別途
「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の増加(小中)	小6	76.2%	75.9%	77.7%	75.6%	78.4%	75.9%	78.0%
	中3	62.3%	64.2%	69.7%	66.0%	67.7%	68.3%	70.9%
「学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがある」児童生徒の増加(小中)	小6	項目なし				88.5%	87.7%	88.0%
	中3	項目なし				85.3%	84.5%	82.2%

進路に向けた意識

「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加(小中高)	小6	84.7%	85.9%	84.8%	85.3%	85.9%	84.9%	83.5%
	中3	69.1%	68.9%	71.7%	70.9%	69.4%	70.6%	70.3%
	高2	H25年新規項目		77.1%	76.7%	75.3%	別途	
「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加(高)	高2	実施なし	46.8%	55.8%	67.2%	69.0%	66.9%	別途

地域社会への参画状況

「地域の行事に参加している」児童生徒の増加(小中高)	小6	76.1%	76.1%	77.9%	79.1%	83.2%	81.5%	82.4%
	中3	43.7%	43.9%	44.6%	48.7%	52.2%	53.9%	53.5%
	高2	実施なし	23.7%	30.5%	30.8%	38.6%	36.0%	別途
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童生徒の増加(小中)	小6	項目なし			37.3%	40.7%	40.8%	項目なし
	中3	項目なし			23.7%	28.9%	32.5%	項目なし

就学援助率と平均正答率との関係について

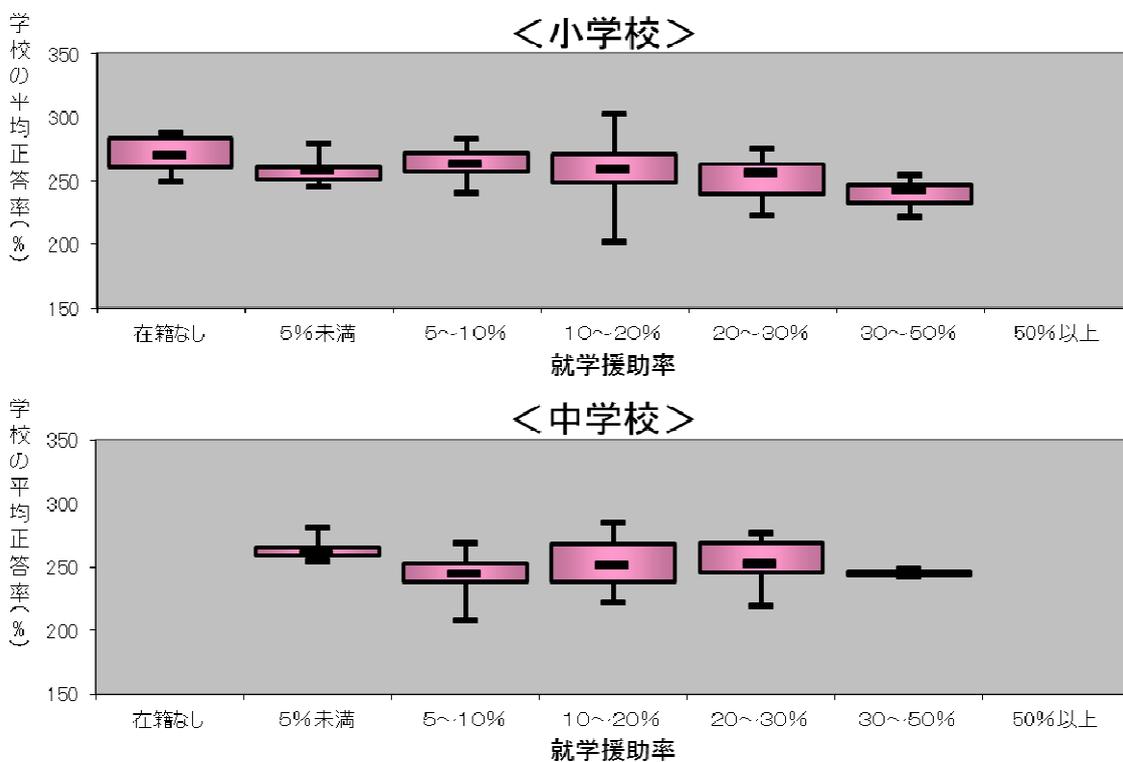
平成28年11月4日

小中学校課

各学校の国語A・B、算数(数学)A・Bの平均正答率と就学援助率との関係について、箱ひげ図を用いて分析した。

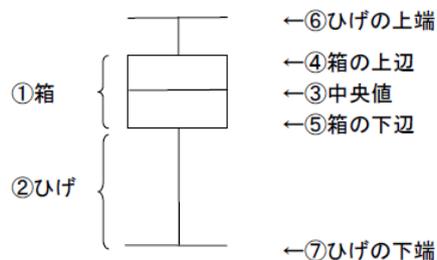
小学校においては、就学援助を受けている児童の割合が高い学校に比べて、その割合が低い学校の方が平均正答率が高い傾向が見られた。

中学校においては、就学援助を受けている生徒の割合の高低と平均正答率の間に明らかな関係は認められなかった。



○箱ひげ図について

ある集団の値の分布の状況を箱(①)とひげ(②)で視覚的に表したものの。箱の中程には、中央値(③)が示され、中央値から箱の両端(④と⑤)までの間にそれぞれ集団の25%(つまり箱の中には集団の50%)が含まれる。また、正規分布においては、箱から伸びるひげの上端(⑥)からひげの下端(⑦)の間に集団の約99%が含まれる。



集団の値の分布がばらついていたり、偏っていたりする場合には、平均値を代表的な値とするより分布の形状に注目した方が良く、箱ひげ図はこうした分布の形状を確認することに適した図である。

平成28年度全国学力・学習状況調査 実施概況

小学校調査

(平均正答率：%)

国語A(基礎問題)		国語B(応用問題)		算数A(基礎問題)		算数B(応用問題)	
全国(国公立)	73.0	全国(国公立)	58.0	全国(国公立)	77.8	全国(国公立)	47.4
全国(公立)	72.9	全国(公立)	57.8	全国(公立)	77.6	全国(公立)	47.2
1:石川県	78.6	1:秋田県	64.0	1:石川県	82.4	1:石川県	53.5
2:広島県	78.4	2:石川県	63.0	1:福井県	82.4	2:秋田県	51.8
3:青森県	77.4	3:福井県	62.7	3:秋田県	82.0	3:福井県	51.5
3:秋田県	77.4	4:愛媛県	60.9	4:沖縄県	80.7	4:富山県	51.4
5:高知県	77.2	5:富山県	60.5	5:富山県	80.5	5:東京都	49.8
6:福井県	76.8	5:広島県	60.5	5:愛媛県	80.5	6:広島県	49.5
7:静岡県	76.5	7:青森県	60.2	7:青森県	80.4	7:愛媛県	49.1
8:徳島県	75.9	8:岩手県	59.9	7:高知県	80.4	8:京都府	48.6
9:新潟県	75.8	9:東京都	59.8	9:京都府	79.9	9:山口県	48.1
10:鳥取県	75.2	10:新潟県	59.6	10:広島県	79.7	10:青森県	47.9
11:富山県	75.0	11:香川県	59.5	11:新潟県	79.6	11:新潟県	47.7
11:香川県	75.0	12:京都府	59.4	12:東京都	79.4	11:沖縄県	47.7
11:宮崎県	75.0	13:長野県	58.9	13:静岡県	78.5	13:茨城県	47.5
14:山口県	74.6	13:静岡県	58.9	13:鹿児島県	78.5	14:静岡県	47.4
15:島根県	74.5	15:岐阜県	58.8	15:山口県	78.4	15:神奈川県	47.3
16:京都府	74.2	16:山口県	58.7	16:三重県	78.3	15:兵庫県	47.3
17:東京都	73.8	17:茨城県	58.6	17:香川県	78.2	15:岡山県	47.3
17:長野県	73.8	18:神奈川県	58.2	18:茨城県	78.0	15:高知県	47.3
19:茨城県	73.7	18:山梨県	58.2	18:長崎県	78.0	15:福岡県	47.3
19:愛媛県	73.7	18:大分県	58.2	20:岩手県	77.9	20:長野県	47.2
21:岩手県	73.4	21:三重県	58.1	20:群馬県	77.9	全国(公立)	47.2
21:沖縄県	73.4	21:沖縄県	58.1	20:大分県	77.9	21:千葉県	47.1
23:福島県	73.3	23:鳥取県	58.0	23:福岡県	77.8	21:三重県	47.1
24:岐阜県	73.0	24:福岡県	57.8	24:兵庫県	77.7	23:岩手県	47.0
24:兵庫県	73.0	全国(公立)	57.8	25:佐賀県	77.6	24:長崎県	46.9
全国(公立)	72.9	25:千葉県	57.7	全国(公立)	77.6	25:鳥取県	46.8
26:大分県	72.7	25:兵庫県	57.7	26:長野県	77.4	26:岐阜県	46.7
27:滋賀県	72.6	25:高知県	57.7	27:福島県	77.2	26:香川県	46.7
27:岡山県	72.6	28:山形県	57.6	27:山梨県	77.2	26:大分県	46.7
27:佐賀県	72.6	29:岡山県	57.5	27:岐阜県	77.2	29:山梨県	46.6
30:千葉県	72.5	30:島根県	57.3	27:和歌山県	77.2	30:愛知県	46.4
31:山形県	72.4	31:奈良県	56.9	27:岡山県	77.2	30:奈良県	46.4
31:長崎県	72.4	31:佐賀県	56.9	32:奈良県	77.1	32:埼玉県	46.3
33:宮城県	72.0	31:長崎県	56.9	33:鳥取県	77.0	33:福島県	46.2
34:群馬県	71.7	34:埼玉県	56.7	33:島根県	77.0	33:佐賀県	46.2
34:三重県	71.7	35:福島県	56.6	35:大阪府	76.9	35:山形県	46.1
34:奈良県	71.7	36:群馬県	56.5	35:徳島県	76.9	36:群馬県	45.9
34:福岡県	71.7	36:滋賀県	56.5	37:宮崎県	76.8	36:島根県	45.9
34:鹿児島県	71.7	36:徳島県	56.5	38:神奈川県	76.6	38:滋賀県	45.8
39:埼玉県	71.6	36:鹿児島県	56.5	39:宮城県	76.5	38:大阪府	45.8
40:愛知県	71.4	40:宮城県	56.2	39:千葉県	76.5	40:和歌山県	45.7
41:山梨県	71.3	40:和歌山県	56.2	41:山形県	76.3	41:宮城県	45.6
41:大阪府	71.3	42:北海道	56.0	42:愛知県	76.0	42:宮崎県	45.5
43:北海道	71.0	42:愛知県	56.0	43:埼玉県	75.9	43:鹿児島県	45.4
44:栃木県	70.6	44:栃木県	55.9	44:滋賀県	75.8	44:栃木県	45.2
45:神奈川県	70.3	45:宮崎県	55.8	45:北海道	75.3	45:徳島県	45.0
46:和歌山県	70.0	46:大阪府	55.4	46:栃木県	75.0	46:北海道	44.5
-:熊本県	-	-:熊本県	-	-:熊本県	-	-:熊本県	-

(備考)熊本地震の影響で、試験の実施を見送った熊本県の全校と大分、宮崎両県の一部の学校は集計に反映されていない。

平成28年度全国学力・学習状況調査
実施概況

中学校調査

(平均正答率：%)

国語A(基礎問題)		国語B(応用問題)		数学A(基礎問題)		数学B(応用問題)	
全国(国公立)	76.0	全国(国公立)	67.1	全国(国公立)	62.8	全国(国公立)	44.8
全国(公立)	75.6	全国(公立)	66.5	全国(公立)	62.2	全国(公立)	44.1
1:秋田県	79.1	1:秋田県	72.4	1:福井県	69.3	1:福井県	50.8
2:石川県	78.1	2:石川県	70.8	2:秋田県	66.6	2:富山県	49.1
3:富山県	78.0	3:富山県	70.5	3:兵庫県	65.7	3:石川県	48.8
4:福井県	77.9	4:福井県	70.1	4:石川県	65.6	4:秋田県	48.4
5:群馬県	77.4	5:静岡県	69.9	5:富山県	65.4	5:静岡県	46.6
6:香川県	77.2	6:群馬県	69.3	6:愛知県	64.9	5:愛媛県	46.6
7:宮城県	76.9	7:茨城県	69.2	6:徳島県	64.9	7:愛知県	46.5
7:茨城県	76.9	8:岐阜県	69.1	8:静岡県	64.3	8:岐阜県	46.2
7:東京都	76.9	9:東京都	68.6	9:青森県	64.0	9:群馬県	45.6
7:静岡県	76.9	9:愛媛県	68.6	9:愛媛県	64.0	9:東京都	45.6
7:山口県	76.9	11:山口県	68.2	11:香川県	63.8	11:兵庫県	45.5
12:山形県	76.8	12:宮城県	67.9	12:奈良県	63.6	12:京都府	45.0
13:鳥取県	76.7	12:島根県	67.9	12:山口県	63.6	12:山口県	45.0
14:広島県	76.6	12:広島県	67.9	14:東京都	63.5	14:広島県	44.8
15:新潟県	76.5	15:山梨県	67.5	14:岐阜県	63.5	15:青森県	44.7
15:愛媛県	76.5	15:香川県	67.5	16:京都府	63.3	16:香川県	44.6
17:青森県	76.4	17:山形県	67.3	17:鳥取県	63.2	17:茨城県	44.5
17:長野県	76.4	18:京都府	67.2	18:群馬県	63.0	18:鳥取県	44.4
19:島根県	76.3	19:鳥取県	67.1	19:新潟県	62.3	19:神奈川県	44.3
20:千葉県	76.1	20:神奈川県	67.0	20:三重県	62.2	20:奈良県	44.2
21:岩手県	76.0	21:千葉県	66.9	20:和歌山県	62.2	全国(公立)	44.1
21:兵庫県	76.0	21:新潟県	66.9	全国(公立)	62.2	21:新潟県	44.0
23:奈良県	75.9	23:長崎県	66.7	22:広島県	62.1	21:徳島県	44.0
24:岐阜県	75.8	24:栃木県	66.6	23:神奈川県	61.9	23:宮城県	43.8
24:京都府	75.8	全国(公立)	66.5	24:北海道	61.8	23:山梨県	43.8
26:栃木県	75.7	25:愛知県	66.4	25:大阪府	61.7	25:長野県	43.7
26:徳島県	75.7	26:長野県	66.3	25:宮崎県	61.7	26:北海道	43.3
全国(公立)	75.6	27:大分県	66.2	27:長崎県	61.5	26:山形県	43.3
28:福島県	75.5	28:岩手県	65.9	28:長野県	61.4	28:埼玉県	43.2
28:愛知県	75.5	29:兵庫県	65.8	29:滋賀県	61.3	28:三重県	43.2
30:神奈川県	75.4	29:福岡県	65.8	30:栃木県	61.2	30:栃木県	43.1
30:高知県	75.4	31:埼玉県	65.6	31:茨城県	61.1	30:大阪府	43.1
30:長崎県	75.4	32:青森県	65.5	32:山梨県	61.0	32:和歌山県	42.9
33:北海道	75.1	32:奈良県	65.5	33:山形県	60.9	33:千葉県	42.7
34:山梨県	75.0	34:高知県	65.2	33:大分県	60.9	34:長崎県	42.5
35:埼玉県	74.9	35:北海道	65.0	35:宮城県	60.4	34:宮崎県	42.5
36:福岡県	74.8	35:福島県	65.0	36:埼玉県	60.3	36:福岡県	42.4
37:岡山県	74.7	37:佐賀県	64.7	36:千葉県	60.3	37:滋賀県	42.3
37:佐賀県	74.7	38:宮崎県	64.5	36:岡山県	60.3	38:大分県	42.1
37:大分県	74.7	39:徳島県	64.4	36:福岡県	60.3	39:島根県	41.7
40:宮崎県	74.5	40:三重県	64.3	40:鹿児島県	59.7	40:岡山県	41.4
41:三重県	74.4	41:鹿児島県	64.2	41:島根県	59.5	40:鹿児島県	41.4
42:滋賀県	74.0	42:岡山県	63.8	42:佐賀県	59.3	42:福島県	41.2
43:鹿児島県	73.9	43:滋賀県	63.3	43:福島県	59.0	43:佐賀県	41.0
44:大阪府	73.5	43:大阪府	63.3	44:高知県	58.5	44:岩手県	40.5
44:和歌山県	73.5	45:沖縄県	63.1	45:岩手県	57.7	45:高知県	40.1
46:沖縄県	71.3	46:和歌山県	62.8	46:沖縄県	54.3	46:沖縄県	37.0
-:熊本県	-	-:熊本県	-	-:熊本県	-	-:熊本県	-

(備考)熊本地震の影響で、試験の実施を見送った熊本県の全校と大分、宮崎両県の一部の学校は集計に反映されていない。